



ふるさと平塚を思う教育 諸伏 清児 議員

ふるさと平塚を思う教育

ふるさと平塚の将来を背負っていく若い人材を確保するには、雇用先はもちろん、子育てや教育環境などの整備を進めながら、教育の中で計画的にふるさと平塚に親しみや愛着を感じる心を育てていくべきである。郷土愛を育むために、教育現場ではどのように取り組んでいるのか。

教育指導担当部長

小学生は、体験を通して平塚のまじのまじを学び、自分たちの住む地域社会に対する誇りと愛情などを育んでいく。中学生は、なじみのある店舗や施設などで職場体験を実施している。望ましい勤労観や職業観を育むと共に、地域で生活したり、働いたりしている人との関わりを深めている。

教育指導担当部長

地域と学校が連携することも必要ではないのか。教育指導担当部長 小学生による学区探検や市内巡り、

知るなど、さまざまな学びの機会を得ている。

オリンピックに向けて

本市の東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致の進捗状況と今後の取り組みを伺う。企画政策部長 誘致活動は11月に県と連携して実施した。北欧のバルト海東部に



行財政改革—持続可能な行財政運営を図るために— 数田 俊樹 議員

行財政改革—持続可能な行財政運営を図るために—

民間活力の導入は積極的に推進すべきだと強く要望してきた。しかし、事業推進のスピードはまだ遅い。今後の展開に向け、具体的な動きはあるのか。

企画政策部長

民間委託については、市民課の窓口業務、介護の認定業務、保育園の関係を順次進めていく予定である。さらに、これまで取り組みが進んでいなかった、技能労務職の現場の業務は、部分的な業務委託なども含め、スピード感を持って取り組む。

持続可能な行財政運営

視点から、職員の適正配置と職員数について伺う。平成18〜23年度の職員数は毎年減少し、23〜27年度にかけては毎年増加している。正規の職員数は23年度が2262人、27年度が2370人で、比べると108人の増員である。嘱託員は23年度368人に対し、27年度411人で、43人の増員となり、正規・嘱託職

あるリトアニア共和国の特命全権大使が本市を訪問し、スポーツ施設の視察調査をされた。今後、受け入れの可能性のある国との関係を深め、市内の大学と連携し、さまざまな角度から誘致活動を前進させたい。

市長

先日、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣に本市のPRを行った。市民にも有意義なものになると思うので、先頭に立ち、全力で取り組みたい。

このほかの質問

地球温暖化対策 住居環境の改善 防犯街路灯の整備

と思う。市長の誘致活動に向けた意気込みを伺う。

職員数

職員数が年々増加する傾向は、大きなリスクの一つになるとの認識を持っている。固定費の中で、人件費は年齢構成が上がるにつれて、財政を圧迫する可能性が高い。病院であろうと、行政職であろうと全体の財政バランスを考えた上で、職員数の増と減、臨時職員や嘱託職員を組み合わせなければならぬ。これに関して見解を伺う。

総務部長

重要なのは、業務の量と質を把握し、十分に見極めることである。臨時職員や嘱託職員、また民間にアウトソーシングしている部分はまだある。そうした中で人件費の縮減を基本に、進めていきたい。

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画放送を行っています。各議員の質疑内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、キーワードを検索して映像を選べます。録画放送の配信は、発言日のおおむね5日後から、会議録をホームページに掲載するまでの間です。

清風クラブ 所属議員



野崎 審也 議員



須藤 量久 議員



片倉 章博 議員



黒部 栄三 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

都市建設

議案4案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

議案第104号 平成27年度平塚市一般会計補正予算

防災対策費の防災行政用無線維持管理事業について、増額補正して、唐ヶ原地区に防災行政用無線を設置する理由と時期を伺う。

3月に津波浸水予測が大幅に見直され、設置が必要と判断した。年度内の完成を目指している。

設置場所を考慮し、大磯町との連携を進めていくべきではないか。

今年度は、大磯町との避難方法の違いなどから訓練を実施できなかった。誘導の在り方などを検討し、新しい防災行政用無線を活用した合同訓練を実施したい。

環境厚生

議案10案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は不採択とすべきものと決定しました。

議案第95号 平塚市保育所設置条例の一部を改正する条例

条例改正し、金田保育園を廃園する理由と今後の方針を伺う。

金田保育園は21年度の耐震診断で改修が必要とされ、費用面などから今年度末で廃園する。金田地域には来年度から新たに民間保育所ができるが、保育料の設定に変化はない。金田保育園の保育士はほかの市立保育園へ再配置する。

議案第96号 平塚市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例

条例改正で、小動物の死体処

理の手数料を、持ち込みは7千円、収集運搬は1万2千円に値上げした算定根拠は何か。

手数料は焼却処理と収集運搬の経費について、26年度実績を基に処理原価を算出した。受益者負担の考えから値上げを行う。

議案第104号 平成27年度平塚市一般会計補正予算

児童福祉施設費の公立保育所施設整備事業で、若草、吉沢、夕陽ヶ丘の各保育園の屋上を修繕するが、なぜ補正予算で対応するのか。

以前から雨漏りがあり部分的な対応をしてきたが、9月の大雨で保育に影響が出てきた。計画的な修繕が重要であると認識しているが、早急な修繕が必要となった。

予防費の健康診査等事業は当初予算で前年度より660万円多く

計上されていた。近年の事業の傾向と増額補正を行う理由を伺う。

受診者数と対象者数が毎年増加しており、受診率も30%を超える状況が続いている。今回、県国民健康保険団体連合会への負担金の不足見込み分を計上した。

議案第106号 平成27年度平塚市介護保険事業特別会計補正予算

介護予防・生活支援サービス事業で増額補正して、1月から始める訪問型サービスAに対応する。その内容と相談の流れを伺う。

サービスAは、主に洗濯や買い物などの家事支援を予定している。市や高齢者よろず相談センターの窓口で相談を受け付け、国が定めた質問票で利用できる事業を判定し、その方に適したケアプランを作成していく。